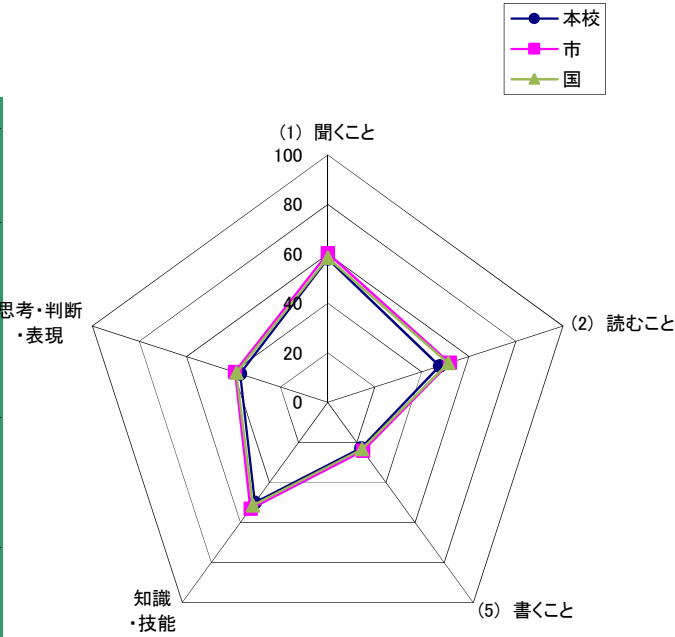


宇都宮市立雀宮中学校第3学年【英語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【英語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	(1) 聞くこと	58.0	60.2	58.4
	(2) 読むこと	47.6	51.8	51.2
	(3) 話すこと[やり取り]			
	(4) 話すこと[発表]			
	(5) 書くこと	22.9	24.2	23.4
観点	知識・技能	50.1	53.1	51.5
	思考・判断・表現	37.2	39.4	38.8
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 聞くこと	平均正答率は、すべての領域の中で一番高かった。市平均を2.2ポイント下回っている。 ○ある状況を描写する英語を聞き、その内容に最も合う絵を選択する問題では、情報を正確に聞き取る力が身に付いている。 ●まとまりのある英文を聞き、最も適切な番号を選択する問題では、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る力が低い。また、絵を選択する問題に比べて、適切な英文を選ぶ問題は比較的正答率が低い。	・日ごろからクラスルームイングリッシュを多用し、日常的な表現に触れる機会を今後も継続して作る。 ・英語を聞いて理解するだけではなく、英語で答える活動をも取り入れていく。 ・定期テストだけでなく、授業の活動の中でも様々なパターンの問題や教材に触れさせ、まとまりのある英文を理解し、正確に答える力を伸ばしていきたい。
(2) 読むこと	平均正答率は、市平均を4.2ポイント、全国平均を3.6ポイント下回っている。 ○図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する問題では、日常的な会話について、短い文章の概要を捉える力が身に付いている。 ●ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する問題では、社会的な問題については要点を捉える力が弱い。	・ある程度の長さのある文章や、難しい話題に関する文章にも慣れるよう、授業の中で、まとまりのある文章を読む機会を増やしていく。 ・Readingの授業では、文章の要点を捉えながら読むことができるよう、どのように読み取るのかのポイントを伝え、様々な読解問題に取り組ませる。 ・社会的な問題についてのトピックで使われている単語や表現を身に付けさせるために、その単語を使った表現活動などを工夫していく。
(3) 書くこと	平均正答率は、すべての領域の中で一番低く、市平均を1.3ポイント下回っている。 ○与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話文を完成させる問題では、未来表現の肯定文を正確に書く力が身に付いている。 ●学校生活を紹介するまとまりのある文章を書く問題では、日常的话题について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く力が低い。	・授業の常活動や単元末テストなどで、英単語の確認を継続して行い、語彙を増やしていく。 ・授業において、本時の目標を明確にした上で活動に取り組ませたり、振り返りで何が身に付いたか確認することで、新しい文法事項の定着を図る。 ・記述式の問題は無回答率も高いので、授業のなかで自己表現活動を取り入れ、ある程度のまとまりのある文章を書くことに慣れさせる。